

シンポジウム

土屋健治と『カルティニの風景』

主催：土屋健治追悼集刊行会

1995年2月に惜しまれつつ亡くなった土屋健治さん(当時、京都大学東南アジア研究センター教授)の著作のうち、アカデミズムの枠を超えて読まれてきた『カルティニの風景』(1991年、めこん)を取り上げ、その意義と可能性を、そしてまた限界を検証し、彼が残した仕事について今日の視点およびインドネシア・東南アジア研究の枠を超えた広がりの中なかで考える。

開会の辞と趣旨説明(押川典昭、大東文化大学)

報告：土屋健治の生涯と仕事(貞好康志、神戸大学)

第1部 シンポジウム：『カルティニの風景』をめぐって

パネリスト

- ・富山一郎(大阪大学、日本史・沖縄研究)
- ・小林寧子(南山大学、インドネシア・イスラーム研究)
- ・朴 裕河(韓国世宗大学、日本文学・ナショナリズム研究)
- ・小野正嗣(明治学院大学、フランス語圏文学・作家)

●コーヒーブレイク

第2部 報告：カルティニ研究の新たな展望

- ・富永泰代(インドネシア近現代史・カルティニ研究)

総合討論：土屋健治と『カルティニの風景』

討論のまとめと閉会の辞(末廣 昭、東京大学)

○日時：2009年2月28日(土) 13時～17時(12時半より受付)

○場所：大東文化大学法科大学院会議室(JR信濃町駅ビル内)

JR中央線・総武線「信濃町駅」下車徒歩0分。改札を出て、券売機に沿って進み、右側にあるオフィス入口エレベーターで駅ビル3階へお上がりください。

○定員80名

シンポジウム終了後、信濃町駅前中華レストラン「桂林」にて「土屋健治さんを偲ぶ会」(会費制)を開催します。こちらにもご参加ください。

申し込みは「めこん」までメール(mekong@bolero.plala.or.jp)またはFAX(03-3815-1810)で。シンポジウムのみ、シンポジウムと「偲ぶ会」の両方、「偲ぶ会」のみ、と明記してください。問い合わせはTEL 03-3815-1688(めこん)まで。申し込みは先着順。